

**【暮らす】 施策の柱5**

①予算事業名	親子支援事業	予算科目	4-1-4-10	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	安心して「子育て」できる島の実現 発達障がい児の支援充実		
②担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	平成30年度～平成32年度	基本計画の該当箇所	施策の柱5-1		
③事業内容	少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、支援が必要な親や子どもが増えている。子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育て・親育ちができるよう支援することを目的とし、療育や個別相談、保育所訪問を専門職が行う。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
⑤事業費 【単位：円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a) 国庫					
		(b) 県費					
		(c) 地方債等			2,779,000	2,779,000	2,779,000
		(d) 一般財源	1,918,000	3,061,000	162,000	162,000	162,000
	計(a～d)	1,918,000	3,061,000	2,941,000	2,941,000	2,941,000	
特定財源名	(a) または (b) の名称			(c) の名称	ふるさと納税基金		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	①年1回、発達障がい専門医を島外から招聘し、町民向け講演会の開催 ②乳幼児健診会場で発達障がいに関するパンフレットや書籍など既存のものを活用しながら、理解促進ガイドブックの作成に取り組む。その際は障害福祉担当とも連携する。					
	平成31年度	①年1回、発達障がい専門医を島外から招聘し、町民向け講演会の開催 ②乳幼児健診会場で発達障がいに関するパンフレットや書籍など既存のものを活用しながら、理解促進ガイドブックの作成に取り組む。その際は障害福祉担当とも連携する。					
	平成32年度	①年1回、発達障がい専門医を島外から招聘し、町民向け講演会の開催 ②乳幼児健診会場で発達障がいに関するパンフレットや書籍など既存のものを活用しながら、理解促進ガイドブックの作成に取り組む。その際は障害福祉担当とも連携する。					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	・理解促進ガイドブックの作成及び活用に取り組む ・乳幼児健診、就学時健診等の機会に努める	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
果・事業 等・成果							
⑧写真及び図面							